

SD研修に参加して

経営企画室 企画課 企画評価係
田上 啓

○SD研修について

この研修は、首都大学東京の職員に採用されてから3回目の研修でした。最初は非常勤契約職員としての導入研修、2回目は常勤契約職員としての導入研修で、今回は、その常勤契約職員が一堂に会したSD宿泊研修でした。過去の研修で一緒にグループ討議した方や日常業務でやり取りしている方も多くおられたので、気分的には緊張せず、ホッとできました。

とは言え、研修では、大学全入時代の荒波のなか、法人化3年目に突入した本法人が、国立大学と私立大学との狭間に埋没せずに、公立大学としての独自の存在感をどのようにアピールしていくのか、そのためには事務職員はどう在るべきかという、事務職員の能力向上が重要なテーマでした。

○山本眞一先生のご講演を拝聴して

数年前、山本先生（当時筑波大学にご在籍中）が主宰された公開セミナーに出席したことがあり、その時も事務職員の能力向上が大きなテーマでした。今回の講演で

も、事務職員の能力向上が、大学改革の大きな推進力になると力説されておられました。

また、ある教育情報誌の中で、「職員の資質として重要なものは、新たな状況にチャレンジできる積極性である。教員や学生からの要望や依頼を受け付けたとき、『出来ません』と直ぐに答えるのではなく、『やってみましょう』と言えるだけの自信と能力が必要である。しかし、その自信には裏付けが必要であり、それが日頃からの勉強の蓄積である」と述べられておられます。

担当外の難題を押し付けられたと考えるのではなく、まずは工夫して実現のために努力し、次に自己啓発を行いながら徐々に自信と能力を身に付け、堂々と『出来ませす』と応えたいものです。さらに進んで、こちらから『こうしたらどうでしょうか』と提案できたらと思います。

言うは易し行いは難しですが、今回の研修を受講し、常にその心構えを持ち続けることが大切であると、あらためて認識致しました。